

## お話あそび『まほうのでんしれんじ』

### 教科・場面

グループ（国語）  
お話あそび

### 授業・実践のねらい

- ・対象物に興味を持って見るができる。
- ・ストーリーや活動の流れを理解する。  
（①レンジを閉める。②合図でスイッチを押す。③チン♪でレンジを開ける）
- ・特定の音（チン）が、料理のできあがる音であることに気づく。

### 対象の児童・生徒

- ・特定の音がなんらかの前触れであることに気付く
- ・物に手を伸ばして触れる
- ・ゆっくり動くものを追試する  
などが課題となるグループ

### 教材・教具

『まほうのでんしれんじ』お話あそび



### 授業展開・教材の使い方・実践の内容

- ・『まほうのでんしれんじ』を使ったお話遊び。
- ①目標とするもの（電子レンジ）を開ける。
- ②素材（イラストのお皿）をいれてる。
- ③スイッチを押す。（歌が流れる間待つ）
- ※歌が流れている間に教員が立体物を入れる。
- ④「チン」の音を合図に電子レンジをあける。

・できあがりの期待感や見通す力、終わりがわかる、音が何らかの合図であることに気づくなどをねらって設定した。

### 工夫したところ

視線がいきやすいような色使いにしたり立体感を出したりした。電子レンジは、裏から開けてこっそり立体物を入れられるようにした。

### 授業・実践を通じた児童生徒の変容

・授業案を立てた段階では、行程が多い（長い）ように感じ、少し不安であったが、実際に授業をしてみると、導入段階から児童が興味関心を持って集中して見ていた。また、うたがながれるところやできあがる場所など児童それぞれの「期待感」が見られた。歌が終わると何かができることを理解できるようになった児童もいる。